

テーマ

地域の魅力発信によるグローバル需要開拓

アグリ・インバウンド観光による販路開拓への挑戦！

くまもと南園の匠協同組合

海外展開に向け積極的に取り組みトップランナー的組合員の存在と、インバウンドをアウトバウンドに繋げようと観光分野にまで視点を広げ、各団体との連携体制を構築したことが推進力を増している。

背景と目的

当組合は独自に設立した基準を満たした農産物・農産加工物をブランド化し、東南・東アジアの百貨店等での展開を目指して平成24年から「JAPANブランド事業」に取り組んできた。しかし、東南・東アジアでは日本産でさえあれば安心安全であると評価されており当組合が期待していたほどの成果を得られなかったため、国外アウトバウンドの国際産直という目標達成へ向け、アプローチを変えた取組みを行うこととなった。

事業・活動の内容

平成27年度、地域資源を活用した「ふるさと名物」等のブランド化のための取組み等を国が支援する「ふるさと名物開発支援事業」に採択され、海外展開を目指して現在、計画の実施に向けて取り組んでいる。

同事業では、観光農園を営む組合員が中核的な役割を担い、阿蘇及び天草の関係市町村や旅行会社等が連携して企画開発に取り組み。旅行目的が多様化する中で、熊本の美しい自然に育まれてきた農林水産業の営みの中から「食・温泉・水等」の魅力を引き出すオリジナルツアー商品の開発を行い、その地域や農場でできない体験型観光（農水産体験型ツアー）に取り組み内容となっている。

具体的には、香港、シンガポールやタイ等の食品輸出に伴って顧客登録を行い、購入した食品の原産地で

ある熊本の農場や製造所棟を訪ねるツアーや既存の観光ルートのオフショナールツアーとして農業者と海外旅行者がともに喜び合う農水産体験・交流型観光を開発し、農水産物の販売促進を図るというものである。このアグリ・インバウンド観光を国外アウトバウンドの国際産直につなげていく。

事業の推進にあたっては、当組合員のほか、熊本観光農園協議会、旅行社、該当する市町村等による構成される「熊本アグリ・インバウンド協議会」を核として、開発する体験・交流型観光の実効性、持続性、利便性等を高めるためのアドバイザーとして、現地旅行社（シンガポール、香港等）のツアープランナー等の招聘、広報資料の作成、アンケート調査、生産品の提案に取り組み。

成果・効果

この事業において農産物の輸出に

取り組む一部の組合員がトップランナーとなり、影響された組合員の6次産業化など農業経営への積極的な取り組みに波及し、組合の活性化が進みつつある。東南・東アジアなどインバウンドの観光客へ新たな観光商品を組織的に提供する組合の取組みは、連携が不可欠な県、市等地方自治体、国内旅行社をはじめとする地域への波及効果も期待される。



▲バンコクでの商談会の様子

くまもと南園の匠協同組合

住所：〒860-0845
熊本県熊本市中央区
上通町8-18

設立：平成20年12月

出資金：3,600千円

電話：096-355-7571

URL：http://www.nanen-takumi.jp

業種：農業

組合員：54人